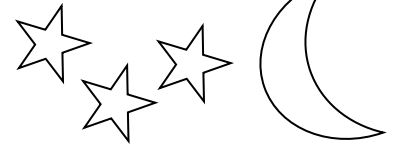


「ふるさと研究活動」は、子どもからおとなまで、幅広い世代の市民のみなさんの参加により、ふるさと所沢の自然・歴史・芸術・文化・産業など、様々な分野の資料や情報を集め、調査・研究を深めてゆく活動です。「所沢のことをなんでも知りたい！」方のご参加をお待ちしております。

## 盛況でした。星空フェスティバル



今年はじめて開催した「ところざわ星空フェスティバル」。8月28日と29日の2日間にわたり延べ300人以上の方々にございました。以下にその一部を紹介します。



星空天体写真展の表彰式にて栄えある市長賞には肥田野さん(右)、教育長賞には田嶋さん(中央)、ピクセン賞には梶嶋さん(左)



天体望遠鏡や観測器具の展示ご協力いただいた(株)ピクセン社のさまざまな天体観測用具。技術は進歩しているんですね



工作教室 星座絵づくり  
星砂を一つ一つ貼っていく作業は根気が要ります。でもできあがりには素敵な星座絵



星空観望会 日中の太陽観測ではプロミネンス(紅炎)や黒点を観測しました



さわれる天体写真は常磐大学の皆さんによります



太陽講座 国立天文台の末松先生の講義に熱心に聞き入る

9月にご覧いただける展示など

場 所	内 容
常設展示室	所沢の歴史・民俗・自然など
メモリアルルーム	並木東小学校の「記憶」
南棟3階階段脇掲示板 ミニ写真展	三ヶ島地区の移り変わり <b>その2</b> 所沢地区の移り変わり
3階中央棟廊下壁 今月の航空写真	旧ユネスコ村周辺

## 閲覧学習室を利用してみませんか？



閲覧学習室には、配架図書資料として、所沢市史などの市史関係のほか、埋蔵文化財調査報告書、石造物調査報告書、市内各機関・個人等で発刊した記念誌や郷土史に関する図書をそろえているほか、埼玉県史や近隣の市町村史も備えています。なかでも、所沢市に隣接ないし近接する多摩地区の自治体史等の資料は貴重です。かつては、行政、流通、文化面で交流の深い地域であるにもかかわらず、現在は東京都と埼玉県という行政区画で分けられているため、近くて遠い存在になっています。そこで、閲覧学習室では、多摩地区で所沢に近い自治体の資料も閲覧できるようにしています。以下に一例を紹介します。

清瀬市…清瀬市史、清瀬市郷土博物館年報など

東村山市…東村山市史、東村山郷土史など

東大和市…東大和市史、里正日誌(名主日記)など

武蔵村山市…武蔵村山市史、指田日記など

小平市…小平市史、小平市史料集、古文書目録など

立川市…立川市史、公私日記(名主日記)など

国分寺市…国分寺市史など

瑞穂町…瑞穂町史など

青梅市史…青梅市史、青梅市史史料集など

西東京市…保谷市史、田無市史など



## 関東大震災と所沢飛行場



ふるさと研究市民トピック vol.15

大正12年(1923)9月1日、相模湾沖を震源とするマグニチュード7.9の地震は、関東地方を襲った未曾有の大地震でした。所沢においても家屋の損壊など大きな被害をもたらしました。しかし、この時、所沢飛行場が活躍したことはあまり知られていません。

東京が壊滅的状況の中、所沢の飛行場では、罹災の翌2日には海軍飛行船が出動して被災状況の把握がおこなわれ、陸軍航空本部からは、救難活動のための飛行機が出動しました。また乙式1型偵察機により、大阪の師団へ救援物資を要請する陸軍大臣命令が伝達されました。乙式1型偵察機はサルムソン2A2という飛行機で、大正8年に来日したフランス教育使節団が使用し、日本でも多くライセンス生産されたそ

うです。

4日には、7機により湘南伊豆方面の被害状況把握の偵察飛行が実施され、名古屋大阪方面への郵便3,000通の輸送飛行もおこなわれました。9日には総理大臣告諭のビラを東京市上空から散布するための飛行機が所沢飛行場から飛び立ちました。当時の内閣総理大臣は山本権兵衛です。告諭は6日に発せられたもので、政府が全力で支援する旨の内容でしたが、郵便など通信手段が遮断された状況下であって罹災者等に知らせる方法はこうした方法しかなかったのでしょうか。

関東大震災は東京を大混乱に陥れましたが、所沢飛行場が多くの人命救助に貢献したことは特筆すべきことではないでしょうか。